

総務省承認	NO.	2	5	8	7	5
承認期限	平成17年3月31日まで					

指標コード		
局・取りまとめセンター	センター	農産加工場コード
農業地域 類型コード	農産加工場の所在地 市区町村コード	市区町村名

* 指標コード欄は、農林水産省で記入します。

平成16年度農産物地産地消等実態調査

農産加工場調査票

この調査は、農林水産省が、統計報告調整法第4条第1項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。また、この調査票は秘密扱いとし、課税など統計以外の目的に使うことは絶対にありませんので、ありのままをご記入くださるようお願いいたします。

農産加工場 名称	(フリガナ)		
運営(経営) 形態	1 農協 2 農事組合法人 3 株式会社 4 有限会社 5 合名・合資会社 6 その他の法人 7 任意組合 8 数人共有 9 その他 [農産加工場を運営(経営)している機関として該当するものに○を 付けてください。]		
開設年次	昭和 ・ 平成	施設面積(m ²)	m ²
従業者数	[平成16年3月31日現在の従業者数を記入してください。 (季節的稼働の場合は、平成15年度の稼働開始時点)]		
稼働時期 (該当に○)	1 通年稼働 2 季節的稼働	年間稼働日数	日
担当者	(フリガナ) 所属部署及び役職		
電話番号	代表番号	— — (内線)	

* 本調査における「地場農産物」とは

○農協が設置主体の場合

当該農産加工場の設置主体である農協の管轄する範囲で栽培された農産物をいいます。
ただし、一県一農協の場合は当該農産加工場が所在する「支所」の管轄範囲までとします。

○農協以外(農家(法人)又は農家以外の農業事業体)が設置主体の場合

当該農産加工場の所在市町村あるいは同一都道府県内の隣接する市町村で栽培された農産物をいいます。

問い合わせ先

名 称: _____

住 所: _____

担当者名: _____ 電話・FAX: _____

以下の設問について、当該農産加工場における、平成15年度（平成15年4月1日～平成16年3月31日）の経営概況や「地場農産物」の使用等についてお答えください。

なお、決算時期が3月でない場合は直近の決算期間（1年間）とし、半期決算の場合は直近の2期の合計とします。

I 農産加工場の経営概況についてお聞きします。

1 仕入についてお聞きします。

（1）平成15年度の原料（中間加工原料を含みます。）の品目分類別仕入金額を記入してください。

* 農協以外で自家栽培した農産物を使用した方については、それらを金額換算（加工場の事業決算における自給したものの原材料仕入原価）のうえ、購入したものと合算し記入してください。

	品 目 分 類	原料仕入金額
21101	米	万円
21102	麦・雑穀類	万円
21103	野菜類	万円
21104	豆類	万円
21105	いも類	万円
21106	きのこ・山菜	万円
21107	工芸農作物	万円
21108	果実類	万円
21109	肉類	万円
21110	牛乳及び鶏卵等	万円
21111	その他	万円
21112	合 計	万円

（2）上記（1）の品目分類別の仕入金額について、①地場産の仕入金額の割合、②地場産を除く県内産の仕入金額の割合、③その他（県外産・輸入品）の仕入金額の割合をそれぞれ記入してください。

	品目分類	① 地場産割合	② 地場産を除く 県内産割合	③ その他 (県外産・ 輸入品)	計
21201	米	%	%	%	100 %
21202	麦・雑穀類	%	%	%	100 %
21203	野菜類	%	%	%	100 %
21204	豆類	%	%	%	100 %
21205	いも類	%	%	%	100 %
21206	きのこ・山菜	%	%	%	100 %
21207	工芸農作物	%	%	%	100 %
21208	果実類	%	%	%	100 %
21209	肉類	%	%	%	100 %
21210	牛乳及び鶏卵等	%	%	%	100 %

2 販売についてお聞きします。

- (1) 主な製造（加工）品名について、最大3品目まで記入してください。
 なお「製造品コード」については職員が記入します。

例：つけ物、うめぼし、
 みそ、ハム、ソーセージ、
 チーズ、ドレッシング等

	製造（加工）品名	製造品コード
22101		
22102		
22103		

- (2) 平成15年度の農産加工場の①年間販売額及び②販売先別の販売金額割合を記入してください。

① 年間販売額

22200										万円
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

⇒

② 販売先別販売金額割合

	販 売 先	販売金額割合
22301	小売業者	割
22302	外食業者	割
22303	中食業者	割
22304	加工業者	割
22305	学校給食	割
22306	消費者へ直接販売	割
22307	その他	割
	合 計	10割

* 中食業者・・・「弁当」、「惣菜」を製造し、卸又は小売りしている業者

- (3) 製造品の出荷地域別の販売金額割合をア又はイに記入してください。

ア 農協が設置主体の場合

22401	加工場立地農協支所管内	割
22402	農協管轄区域	割
22403	県内	割
22404	県外	割
22405	その他	割
	合 計	10 割

* 「市町村」及び「農協（支所）」の範囲は、平成16年3月31日現在とします。

イ 農協以外が設置主体の場合

22406	市町村内一円	割
22407	隣接市町村	割
22408	県内	割
22409	県外	割
22410	その他	割
	合 計	10 割

Ⅱ 「地場農産物」の使用に関してお聞きします。

1 地場農産物の使用目的等についてお聞きします。

(1) 地場農産物の使用にあたってどのようなことに取り組んでいますか、該当する番号のすべてに○を付けてください。

- 1 地場農産物の安定的な仕入
- 2 地場農産物のみを使用した加工品の製造
- 3 高付加価値品（有機栽培品、特別栽培品）を使用した加工品の製造
- 4 地域特産品の製造
- 5 生産者と消費者の交流活動、体験活動等の実施
- 6 併設レストラン、直売所での使用、販売
- 7 その他（具体的に： ）

23101	1
23102	2
23103	3
23104	4
23105	5
23106	6
23107	7

(2) 上記の取組により得られた効果について、該当する番号のすべてに○を付けてください。

- 1 消費者への安全・安心な農産物加工品の提供
- 2 流通コストの削減
- 3 地場農産物の販路の確保
- 4 地域農業の活性化
- 5 消費者への地場農産物嗜好の喚起
- 6 消費者と生産者のコミュニケーション
- 7 その他（具体的に：

23201	1
23202	2
23203	3
23204	4
23205	5
23206	6
23207	7

(3) 現時点でどのような課題があるとお考えですか、該当する番号のすべてに○を付けてください。

- 1 施設の拡充
- 2 加工経費の削減
- 3 「地場農産物」の確保
- 4 年間を通じた原料の安定的な確保
- 5 他の加工施設との競合
- 6 付加価値の高い地場加工品の商品開発
- 7 新たな販路の開拓
- 8 加工専用品種等の開発
- 9 その他（具体的に：

23301	1
23302	2
23303	3
23304	4
23305	5
23306	6
23307	7
23308	8
23309	9

2 地場農産物のこれまで及び今後の取扱いについて、該当する番号を1つ選んで記入してください。

(1) 3年前(3年以内に開設している場合は、開設当初)に比べて現在の地場農産物の取扱量は

- 1 増えた 2 変わらない 3 減った 4 わからない

24100

(2) 現在に比べて3年後の地場農産物の取扱量を

- 1 増やしたい 2 現状維持 3 減らしたい 4 わからない

24200	
-------	--